

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	図画工作科教育法				
担当者氏名	笠川 武史				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	2年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門基礎-2 豊かな人間性の醸成 ○ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

図画工作教育は、その活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力の育成を目指す。そのために、①学習指導要領の内容を把握し、指導に必要な知識を身につける。②子どもの感性を育み表現力を引き出すために造形・色彩理論を身につけ、作品制作を通して自己表現力を高める。③学習指導案計画を作成し発表する。この3点を重要視する。

《授業の到達目標》

- ・図画工作科の役割や特性をふまえ、指導計画を立て、題材研究を行えるようにする。
- ・図画工作科の学習内容について指導上の留意点を理解し、指導のための造形及び色彩理論を身につける。
- ・計画や理論をもとに制作し、教育現場で実践していく力を培う。

《成績評価の方法》

- ・平常点(受講態度など) 20%
- ・学習内容のまとめやシート、実践作品の内容 50%
- ・最終課題(発表及び学習指導案、レポート)の内容 30%

《テキスト》

「明日の小学校教諭を目指して 子どもの資質・能力を育む 図画工作科教育法」 萌文書林

《参考図書》

適宜、資料を配布する。

《授業時間外学習》

- ・日頃から、造形・色彩分野に興味や関心を持っておく。
- ・学習指導要領については、授業に沿って予習と復習を自主的に十分行い、内容を把握する。
- ・作品制作については毎回の授業がつながるように、振り返りと次回に向けての準備と工夫を心掛ける。

《備考（教員経験の有無）》

この教科は、中学校の教員経験に基づき構成しています。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	ガイダンス	図画工作教育の意義と目的・目標・内容と構成
2	造形遊び(1)	領域「A表現」(1) ア：造形遊び～思考力、判断力、表現力～ 身近な材料の基礎
3	造形遊び(2)	領域「A表現」(2) ア：造形遊び～技能～ 身近な材料の応用
4	絵に表す(1)	領域「A表現」(1) イ：絵や立体、工作～思考力、判断力、表現力～ 構想画(1)
5	絵に表す(2)	領域「A表現」(2)イ：絵や立体、工作～技能～ 構想画(2)
6	立体・工作に表す(1)	領域「A表現」(1) イ：絵や立体、工作～思考力、判断力、表現力～ 木を使って
7	立体・工作に表す(2)	領域「A表現」(2) イ：絵や立体、工作～技能～ 石などを使って
8	鑑賞(情報機器を使用して)	領域「B鑑賞」(1) 領域の特性と各学年の学習内容
9	学習指導案(1)	学習指導案の構成と理解・作成および参考作品制作と学習評価について
10	表現の発達段階(情報機器を使用して)	子どもの成長とカリキュラム (1)表現の発達特性 (2)学びの連続性
11	表現の基礎的知識	造形要素・造形原理および色彩論
12	学習指導案(2)	学習指導計画案および参考作品発表(模擬授業)
13	学習指導案(3)	学習指導計画案および参考作品発表(模擬授業)
14	学習指導案(4)	学習指導計画案および参考作品発表(模擬授業)
15	まとめ	授業の振り返りと、授業設計向上のためのレポート作成